

# 令和5年度 第1回 高知県歯と口の健康づくり推進協議会

## 次 第

### 1 開会

### 2 会長・副会長の選出

### 3 議事

(1) 歯と口の健康づくりに関する現状について (資料1)

(2) 令和4年度の実績及び令和5年度の実績について (資料2)

(3) 第5期高知県健康増進計画「よさこい健康プラン21」について (資料3)

(4) その他

### 4 閉会

令和5年7月25日(火) 19時00分～20時30分

場所：高知市総合あんしんセンター2階 高知県歯科医師会会議室

方法：対面とオンライン (Zoom) の併用開催

# 高知県歯と口の健康づくり推進協議会 委員名簿

任期：令和5年7月1日～令和7年6月30日

区分	所属等	役職等	氏名	備考
市町村	高知県市長会	事務局長	吉野 晴喜	会場
	高知県町村会	事務局長	笹岡 貴文	欠席
保健医療関係者	高知県医師会	常任理事	伊与木 増喜	会場
	高知大学医学部歯科口腔外科学講座	教授	山本 哲也	Web
	高知県歯科医師会	会長	野村 和男	会場
	高知市歯科医師会	会長	宮川 慎太郎	欠席
		副会長	有田 佳史	代理出席 会場
	高知県歯科衛生士会	会長	片岡 千香	会場
	高知県栄養士会	会長	新谷 美智	新会場
	高知市保健所	管理主幹	上田 佳奈	会場
高知県保健所長会	会長	福永 一郎	会場	
教育関係者	高知県小中学校長会	副会長	來 節子	会場
	高知県保育士会	理事	今村 太郎	新会場
福祉関係者	高知県介護支援専門員連絡協議会	理事	小田原 恵子	新会場
	高知県身体障害者連合会	会長	宮崎 俊雄	新会場
事業者	高知県商工会議所連合会	専務理事	谷脇 明	欠席
	高知県農業協同組合中央会	総務企画部兼 経営支援室部長	藤井 洋光	新会場
保険者	高知県国民健康保険団体連合会	保険者支援 課長	諸石 恵子	新会場
	全国健康保険協会高知支部	企画総務 グループ長	松田 恵美	会場
県民	高知県保幼小中高PTA連合体連絡協議会	監事	齊藤 雄也	会場
	高知県健康づくり婦人会連合会	会長	熊田 敬子	会場

(敬称略、順不同)

## 事務局職員名簿

健康政策部	部長	家保 英隆	会場
保健政策課	課長	濱田 仁	会場
	保健推進監	酒井 美枝	会場
	チーフ	大川 純子	会場
	主幹 (中央西福祉保健所兼務)	尾上 真奈美	会場
	技師	安岡 里緒	会場
在宅療養推進課	主事	上野 和真	会場
障害福祉課	チーフ	中岡 辰則	会場
安芸福祉保健所健康障害課	技師	武内 美夢	Web
中央東福祉保健所健康障害課	チーフ	前田 由佳	会場
須崎福祉保健所健康障害課	主幹	渋谷 莉加	会場
幡多福祉保健所健康障害課	技師	谷脇 利奈	Web

-----  
高知県歯と口の健康づくり推進協議会の組織及び運営に関する規則  
-----

平成23年4月1日規則第29号

改正

令和4年4月1日規則第28号

高知県歯と口の健康づくり推進協議会の組織及び運営に関する規則をここに公布する。

高知県歯と口の健康づくり推進協議会の組織及び運営に関する規則

(趣旨)

**第1条** この規則は、高知県歯と口の健康づくり条例（平成22年高知県条例第35号）第13条第1項の規定により置かれる高知県歯と口の健康づくり推進協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

**第2条** 協議会は、委員20人以内で組織する。

(委員)

**第3条** 委員は、学識経験を有する者のうちから、知事が委嘱する。

(任期等)

**第4条** 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

**第5条** 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

**第6条** 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。

2 会議の議長は、会長が当たる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開き、及び議決をすることができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

**第7条** 協議会の庶務は、高知県健康政策部保健政策課において処理する。

(雑則)

**第8条** この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

**附 則**

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 第6条第1項の規定にかかわらず、この規則の施行の日以後最初に開かれる会議は、知事が招集する。

3 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和4年4月1日規則第28号）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

(1) 歯と口の健康づくりに関する現状について

評価指標	第3期 計画策定時 (R4.3)	現状値 (R4年度)	データ推移による類推	目標値 R8年度
(新) 妊婦歯科健診受 診者率(受診者 数/出生数)	36.9% <sup>1)</sup>	39.9% <sup>5)</sup>		40%以上
(新) 保護者が仕上げ みがきをしてい る割合 1歳6か月児	74.8% <sup>2)</sup>	73.9% <sup>6)</sup> (R3)		80%以上
むし歯のない3 歳児の割合	85.8% <sup>3)</sup>	89.0% <sup>7)</sup>		92%以上
保育所・幼稚園 等でのフッ化物 洗口の実施割合	66.9% <sup>4)</sup>	68.3% <sup>8)</sup>		80%以上

1) 出生数：令和2年人口動態  
受診者数：令和2年度妊婦歯科健診受診者数データ（高知県歯科医師会調べ）  
2) 令和2年度健やか親子21  
3) 令和2年度3歳児歯科健康診査（高知県）  
4) 令和2年度フッ化物応用実施状況調査（高知県）

5) 出生数：令和4年人口動態  
受診者数：令和4年度妊婦歯科健診受診者数データ（高知県歯科医師会調べ）  
6) 令和3年度健やか親子21  
7) 令和4年度3歳児歯科健康診査（高知県）  
8) 令和4年度フッ化物応用実施状況調査（高知県）

評価指標	第3期 計画策定時 (R4.3)	現状値 (R4年度)	データ推移による類推	目標値 R8年度
一人平均むし歯 数（永久歯） 12歳	0.68本 <sup>1)</sup>	0.50本 <sup>2)</sup>	(本) 	0.5本以下
(新) 12歳児でのむし 歯のない者の割 合	71.1% <sup>1)</sup>	75.0% <sup>2)</sup>	(%) 	80%以上
一人平均むし歯 数（永久歯） 17歳	2.14本 <sup>1)</sup>	1.82本 <sup>2)</sup>	(本) 	1.5本以下
歯肉に炎症所見 を有する者の割 合 12歳	27.0% <sup>1)</sup>	24.0% <sup>2)</sup>	(%) 	20%以下

1) 令和2年度高知県学校歯科保健調査（高知県歯科医師会）  
2) 令和4年度高知県学校歯科保健調査（高知県歯科医師会）

評価指標	第3期 計画策定時 (R4.3)	現状値 (R4年度)	データ推移による類推	目標値 R8年度
歯肉に炎症所見を有する者の割合 17歳	23.5% <sup>1)</sup>	20.0% <sup>3)</sup>		20%以下
20歳代における歯肉に炎症を有する者の割合	62.1% <sup>2)</sup>	—		50%以下
40歳代における進行した歯周炎（4mm以上の歯周ポケットあり）を有する者の割合	68.7% <sup>2)</sup>	—		50%以下
40歳の未処置歯を有する者の割合	36.2% <sup>2)</sup>	—		25%以下

1) 令和2年度高知県学校歯科保健調査（高知県歯科医師会）  
2) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）  
3) 令和4年度高知県学校歯科保健調査（高知県歯科医師会）

評価指標	第3期 計画策定時 (R4.3)	現状値 (R4年度)	データ推移による類推	目標値 R8年度
40歳で喪失歯のない者の割合	69.7% <sup>1)</sup>	—		75%以上
50歳代における進行した歯周炎（4mm以上の歯周ポケットあり）を有する者の割合	72.2% <sup>1)</sup>	—		60%以下
歯間部清掃用具を使用する者の割合（17歳以上）	64.4% <sup>1)</sup>	57.9% <sup>2)</sup> (参考)		70%以上
定期的に歯科健診を受けている者の割合（17歳以上）	62.4% <sup>1)</sup>	54.1% <sup>2)</sup> (参考)		70%以上

1) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）  
2) 令和4年度高知県県民健康・栄養調査（高知県）

評価指標	第3期 計画策定時 (R4.3)	現状値 (R4年度)	データ推移による類推	目標値 R8年度
60歳の未処置歯を有する者の割合	30.5% <sup>1)</sup>	—		25%以下
60歳代における進行した歯周炎（4mm以上の歯周ポケットあり）を有する者の割合	72.1% <sup>1)</sup>	—		65%以下
60歳で自分の歯を24本以上有する人の割合	70.1% <sup>2)</sup>	—		80%以上
60歳代における咀嚼良好者の割合	65.4% <sup>1)</sup>	—		80%以上

1) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）

2) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査をもとに  
智歯を加味して再集計したもの

評価指標	第3期 計画策定時 (R4.3)	現状値 (R4年度)	データ推移による類推	目標値 R8年度
80歳で自分の歯 を20本以上有す る者の割合	56.7% <sup>1)</sup>	—		60%以上
(新) 半年前に比べて 固いものが食べ にくくなった者 の割合 (75-79歳)	26.0% <sup>2)</sup>	27.6% <sup>4)</sup>		15%以下
(新) お茶、汁物でむ せることがある 者の割合 (75-79歳)	19.8% <sup>2)</sup>	22.6% <sup>4)</sup>		15%以下
定期的な歯科健 診を全員または 一部に実施して いる介護老人福 祉施設・介護老 人保健施設の割 合	46.6% <sup>3)</sup>	—		50%以上

1) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査をもとに  
智歯を加味して再集計したもの  
2) 令和2年度後期高齢者歯科健診結果  
3) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）  
4) 令和4年度後期高齢者歯科健診結果

評価指標	第3期 計画策定時 (R4.3)	現状値 (R4年度)	データ推移による類推	目標値 R8年度
定期的な歯科健診を全員または一部に実施している障害（児）者入所施設の割合	83.9% <sup>1)</sup>	—	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H27 R2 R7</p>	90%以上
(新) 糖尿病患者のうち 歯科医療機関を受診した者の 割合 (30-75歳)	48.9% <sup>2)</sup>	49.5% <sup>3)</sup>	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p>	53%以上

1) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）

2) 令和2年度高知県国民健康保険団体連合会「糖尿病患者の歯科レセプト分析」

3) 令和4年度高知県国民健康保険団体連合会「糖尿病患者の歯科レセプト分析」

(2) 令和 4 年度の実績  
及び令和 5 年度の取組予定について

# (1) 子どもの歯と口の発達

## 1) むし歯予防対策

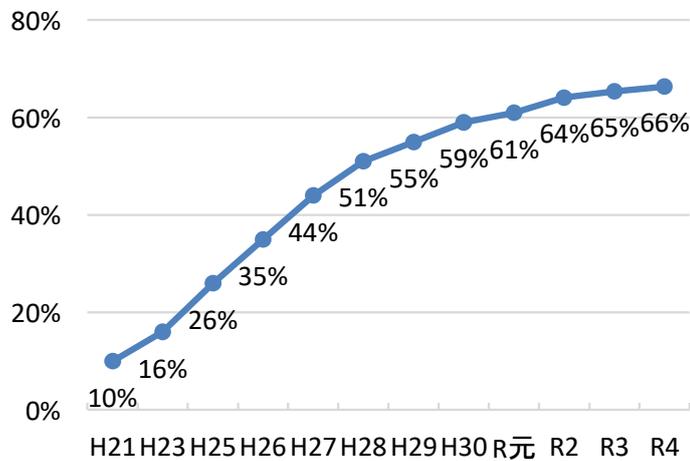
### ① 令和4年度取組実績

■ 令和4年度に子どもの健口応援推進事業を活用して新規に導入した施設は、5施設（認定こども園1園、幼稚園1園、小学校1施設、中学校1施設、特別支援学校1施設）で実施率66.4%※（R3：65.4%）となった。

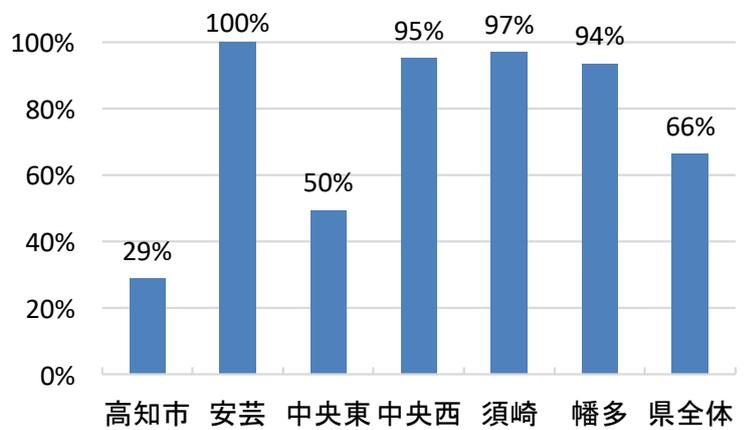
※新型コロナウイルス感染症の影響で一時的にフッ化物洗口を休止している施設を含む。

■ 副読本を活用した、歯科保健指導を実施

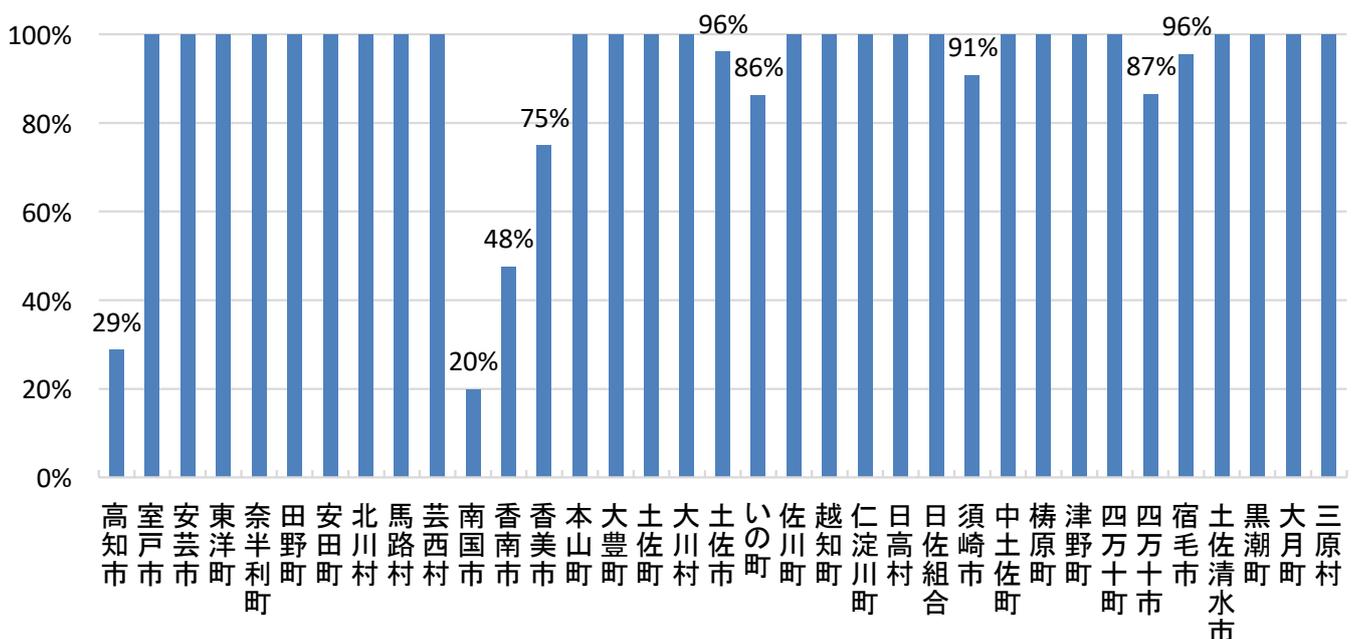
【フッ化物洗口施設実施率※年度推移】  
（H21年度～R4年度）



【圏域別フッ化物洗口施設実施率※】  
（R5.3月時点）



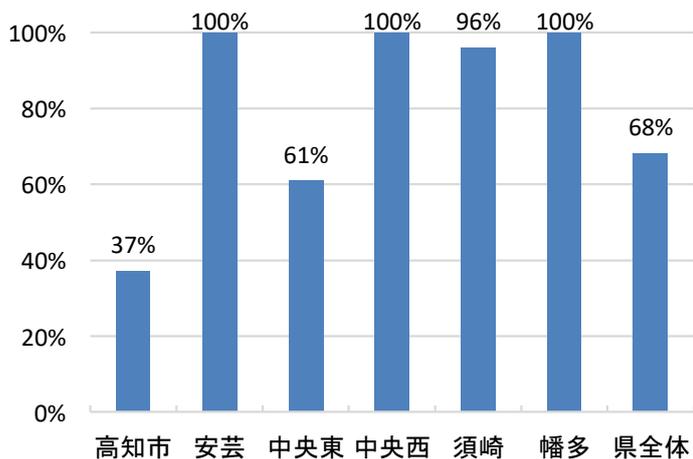
【市町村別フッ化物洗口施設実施率※】  
（R5.3月末時点）】



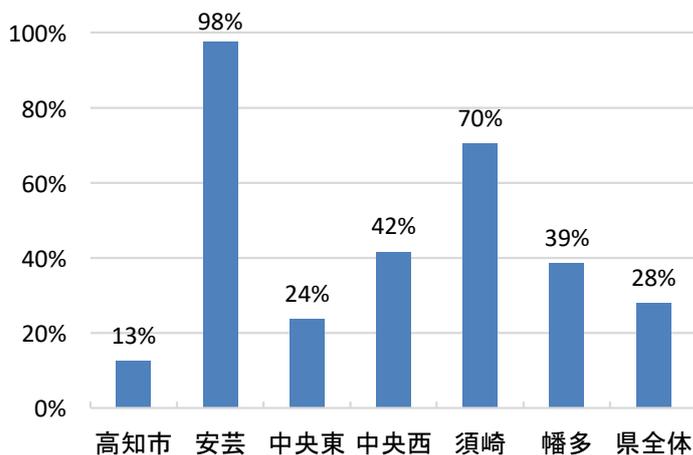
※フッ化物洗口実施率：保育所、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校までの施設における「フッ化物洗口実施施設／総施設」

（出典）H21年度～R4年度フッ化物洗口実施状況調査（保健政策課）

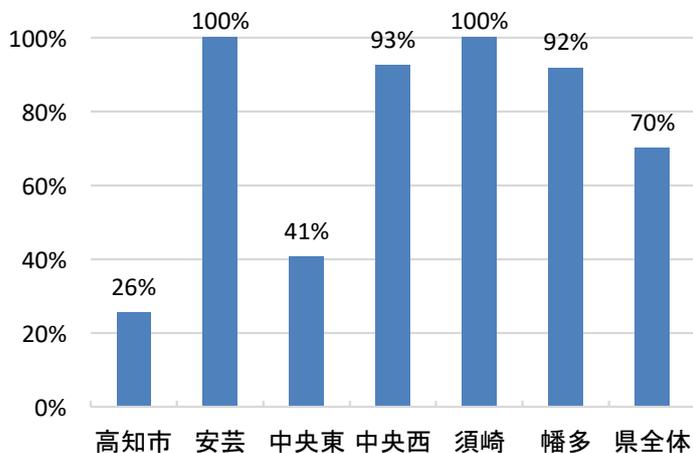
【圏域別フッ化物洗口実施率】  
（保育園・幼稚園・認定こども園施設割合）



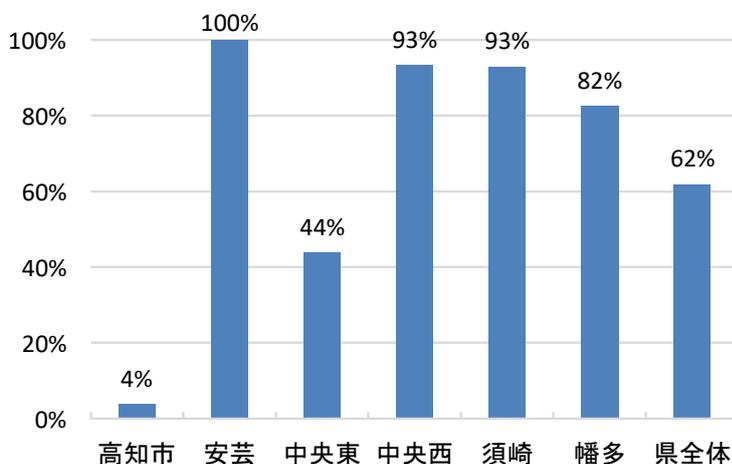
【小学生のフッ化物洗口実施人数の割合】



【圏域別フッ化物洗口実施率】  
（小学校施設割合）

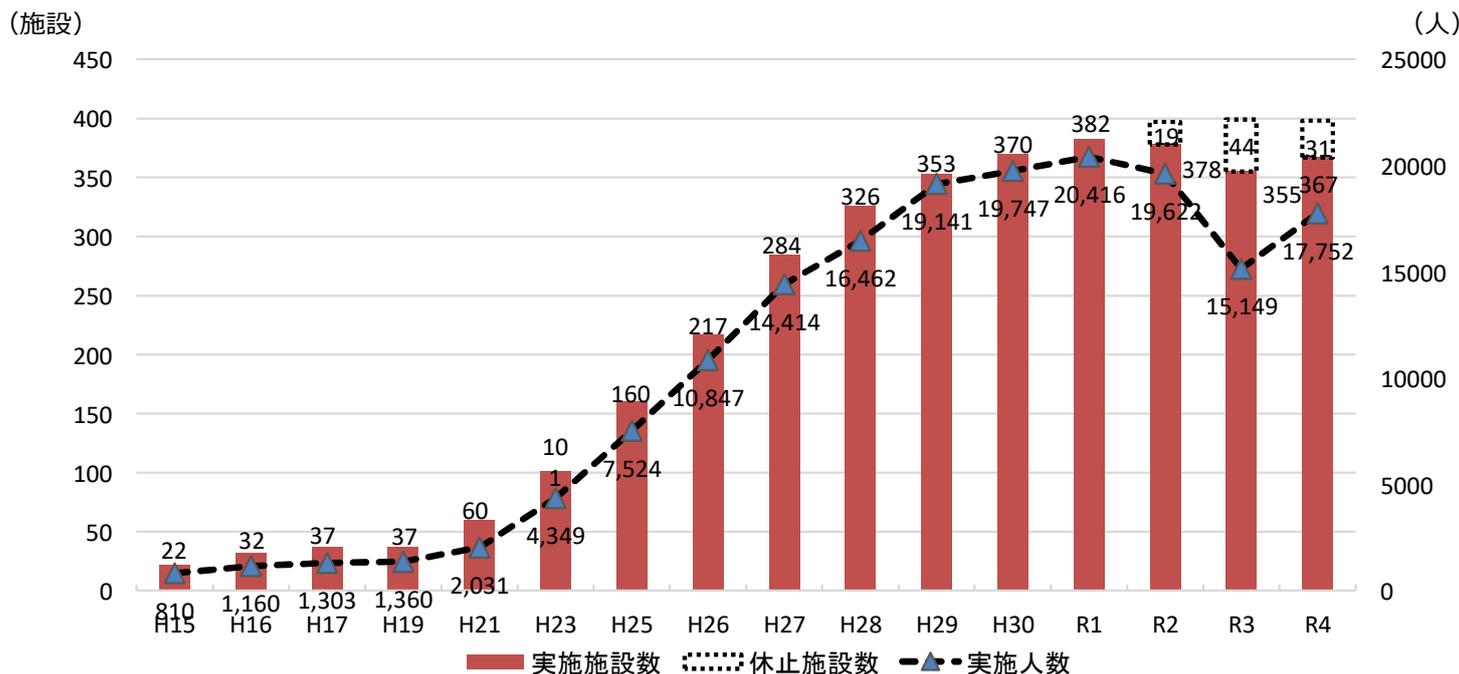


【圏域別フッ化物洗口実施率】  
（中学校施設割合）



（出典）R4年度フッ化物洗口実施状況調査（保健政策課）

【フッ化物洗口実施施設及び実施人数の推移（保・幼、小、中等）】



（出典）H15年度～R4フッ化物洗口実施状況調査（保健政策課）

## ② 評価・課題

- 新型コロナウイルス感染症の影響で洗口を休止している施設への再開支援が必要
- 実施率が低い市町村に対し、フッ化物洗口を開始するための支援が必要
- 新規導入支援のみならず、既に実施している施設へ手順等のフォローアップが必要

## ③ 令和5年度取組予定

### ■ 子どもの健口応援推進事業

- ・新たにフッ化物洗口を開始する施設への導入支援

保健政策課 1施設（特別支援学校 1校）

中央東福祉保健所 15施設（保育所 4園、小学校 7校、中学校 4校、）

幡多福祉保健所 3施設（小学校 2校、中学校 1校）

- ・フッ化物洗口実施率が100%未満の市町村への支援や、新型コロナウイルス感染症の影響で洗口を休止している施設への再開支援

- ・フッ化物洗口実施現場の確認や、実施にあたっての技術的支援などのフォローアップ

### ■ 副読本の活用により、子どもの頃から歯みがき等望ましい歯科習慣が定着するよう推進

市町村	R5新規実施予定	R5年度の取組み
東洋町	-	フッ化物洗口の実施方法、現場確認
南国市	保：3	・保育所3園で開始に向けた支援を実施 ・保育所3園で関係者への研修会等の開催
香南市	小：7 中：4	・小学校7校、中学校4校で開始に向けた支援を実施 ・希望校で関係者への研修会等の開催
香美市	保：1	・保育園1園で開始に向けた支援を実施 ・市や保育園1園で関係者への研修会等の開催
高知市	特別支援学校 (中学部)：1	特別支援学校(中学部)1校で開始に向けた支援を実施
四万十市	小：1 中：1	小学校1校、中学校1校で開始に向けた支援を実施
宿毛市	小：1	小学校1校で開始に向けた支援を実施
土佐清水市	-	児童への説明会を開催

## (2) 歯肉炎・歯周炎の予防

### 1) 成人・妊婦歯科健診（市町村事業）の取り組み支援

#### ① 令和4年度取組実績

##### ■ 令和4年度成人歯科健診受診者数（市町村事業 独自実施を除く）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受診者数	49	84	200	227	168	135	166	196	198	109	244	139	1,915

\* その他独自実施の3市では395人の受診があった

(参考 集合契約市町村分) 令和3年度受診者数 1,680人

(参考 独自実施市町村分) 令和3年度受診者数 393人

#### 実施市町村数

H30	R元	R2	R3	R4
12	30 (1)	32 (3)	34 (3)*	34 (3)*

( ) 内独自市町村の再掲

\* 1市重複

##### ■ 令和4年度妊婦歯科健診受診者数（市町村事業 独自実施を除く）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受診者数	96	93	131	132	107	115	126	109	144	92	106	112	1,363

\* その他独自実施の市では120人の受診があった

(参考 集合契約市町村分) 令和3年度受診者数 1,470人

(参考 独自実施市町村分) 令和3年度受診者数 129人

#### 実施市町村数

R元	R2	R3	R4
27 (3)	31 (3)	33 (2)	33 (2)*

( ) 内独自市町村の再掲

\* 1市重複

#### ② 評価・課題

- 市町村と連携した歯周病予防に関する啓発や、歯科健診受診者数の増加に向けて市町村支援の充実が必要

#### ③ 令和5年度取組予定

- 健診受診率向上のため、地域歯科保健連絡会等を活用し、各市町村と連携した啓発の検討

■ 実施市町村

成人歯科健診 34市町村（集合契約に参加 32市町村、独自実施 3市） \* 1市重複

妊婦歯科健診 34市町村（集合契約に参加 33市町村、独自実施 1市）

市町村名	成人		妊婦	
	5年度実施	自己負担	5年度実施	自己負担
高知市	○	無	○	無
室戸市	○	無	○	無
安芸市	独自・集合	無	○	無
南国市	独自	無	独自	無
土佐市	独自	無	○	無
須崎市	○	無	○	無
宿毛市	○	500円	○	無
土佐清水市	○	無	○	無
四万十市	○	500円	○	無
香南市	○	無	○	無
香美市	○	無	○	無
東洋町	○	無	○	無
奈半利町	○	無	○	無
田野町	○	無	○	無
安田町	○	無	○	無
北川村	○	無	○	無
馬路村	○	無	○	無
芸西村	○	無	○	無
本山町	○	無	○	無
大豊町	○	無	○	無
土佐町	○	無	○	無
大川村	○	無	○	無
いの町	○	無	○	無
仁淀川町	○	無	○	無
中土佐町	○	無	○	無
佐川町	○	無	○	無
越知町	○	無	○	無
梶原町	○	無	○	無
日高村	○	無	○	無
津野町	○	無	○	無
四万十町	○	600円	○	無
大月町	○	無	○	無
三原村	○	無	○	無
黒潮町	○	無	○	無

## 2) 歯周病予防啓発事業

### ① 令和4年度取組実績

- 高知県歯科医師会へ委託
- マスメディア等を活用し、県民に向けた歯周病に関する周知啓発を実施
  - ・定期的な歯科健診受診の重要性や歯周病と全身疾患との関連、歯周病予防についての特番「口は健康の源」を放送
  - 放送日：令和5年2月25日（土）14時～14時30分
  - 再放送：令和5年3月4日（土）25時20分～25時50分
  - 放送局：高知さんさんテレビ
  - ・令和2年度に制作したテレビCM放送（30秒）  
（令和5年2月～3月 民法3局 計18本）



### ② 評価・課題

- 歯周病と糖尿病との関係性、定期的な歯科健診の重要性について県民に周知する機会となった。
- 歯周病は、全身疾患に影響が大きいいため、引き続き幅広い年代への周知啓発が必要

### ③ 令和5年度の取組予定

- 高知県歯科医師会へ委託
- テレビCMの制作・放送とリーフレットの作成・配布による歯周病予防啓発を実施

### 3) 歯周病保健指導実施

#### ① 令和4年度取組実績

- 高知県歯科衛生士会へ委託
- 歯科衛生士を対象にしたアドバイザー養成研修会を3回実施

実施日	内容	会場	参加者数
R4年7月18日(月)	昭和なあなたの目からウロコ 「令和のカロロジーとペリオドントロジー」 講師 大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子免疫制御学講座 予防歯科学 教授 天野 敦雄	高知学園 短期大学	52名
R4年8月28日(日) AM	「健康教育技法と指導案作成」 講師 高知学園短期大学看護学科 がん看護専門看護師 准教授 田尻 信子	高知学園 短期大学	44名
R4年8月28日(日) PM	「リーフレットを用いた実践、演習」 (講義・グループワーク) 講師 歯科衛生士会会員	高知学園 短期大学	30名

- 歯周病と全身疾患の関係及び歯周病予防について掲載したリーフレットを作成
- 事業所での歯科保健指導を実施するため、指導者用手引きを作成
- 事業所での歯科保健指導を15回実施

実施日	実施場所	受講者数
R4年10月1日	高橋組(越知町)	47名
R4年10月3日	土佐鶴酒造(安田町)	65名
R4年10月4日	西森建設(仁淀川町)	79名
R4年10月5日	中村ソーイング他(四万十市)	68名
R4年10月7日	三和製紙(土佐市)	111名
R4年10月8日	山本建設(黒潮町)	53名
R4年10月17日	木材工業団地(高知市)	76名
R4年10月18日	小規模企業混合(四万十市)	61名
R4年10月18日	みはら菜園(四万十町)	57名
R4年10月21日	高知ダイハツ販売(南国市)	60名
R4年11月29日	井ノ口公民館(安芸市)	54名
R4年12月1日	総合保健協会(高知市)	24名
R4年12月15日	四万十会館(四万十町)	193名
R5年1月12日	総合保健協会(高知市)	28名
R5年1月23日	南国オフィスパーク(南国市)	49名
合計		1,025名

■ 事業所アンケート結果

回答者：1,029人

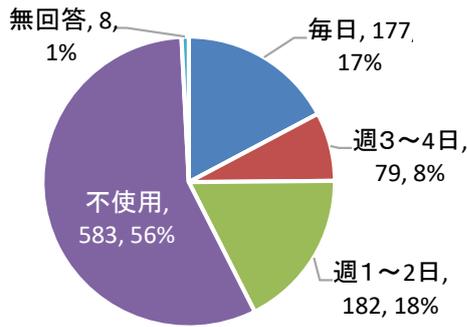
内訳：男性 617人（60.0%）、女性 214人（20.8%）

性別記入なし 198人（19.2%）

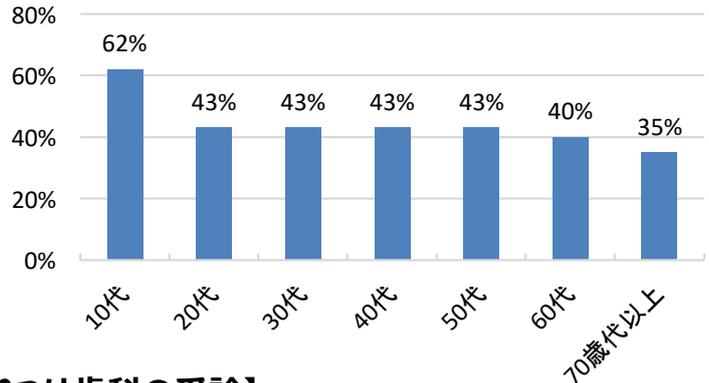
年代：40代が250人で最も多く、20代から60代の回答者が955人で93%を占めた。

【糸ようじや歯間ブラシの使用状況】

使用している人（全体）

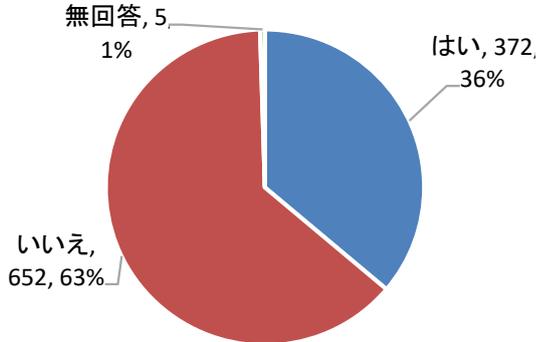


使用している人（年代別）

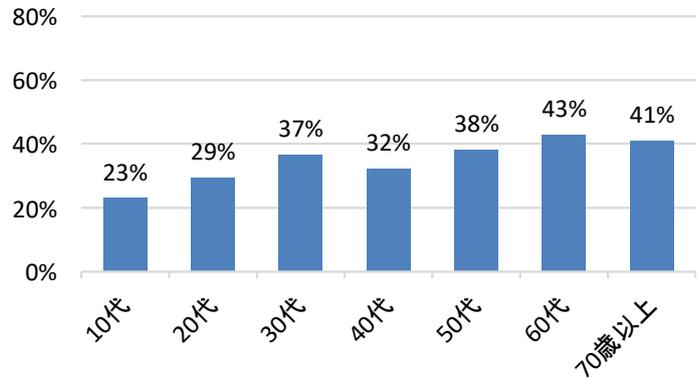


【定期的なかかりつけ歯科の受診】

受診している人（全体）

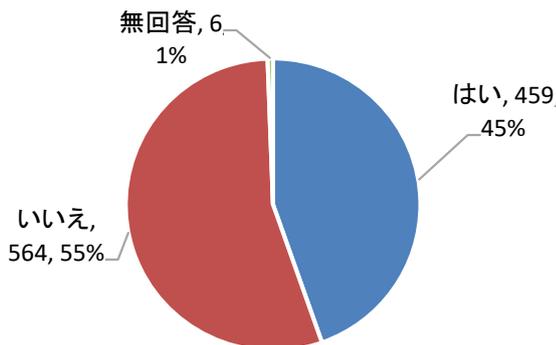


受診している人（年代別）

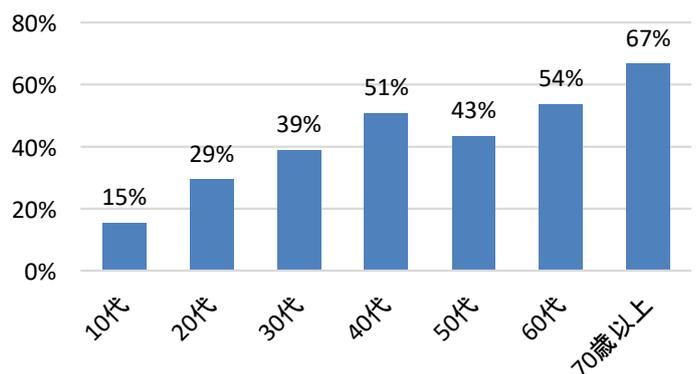


【歯周病と全身との関係を知っている人】

知っている人（全体）



知っている人（年代別）



## ② 評価・課題

- 研修により、事業所での歯周病保健指導ができる歯科衛生士を29名養成
- 年代が上がるに従い、歯間部清掃用具を使用する者、定期的にかかりつけ歯科を受診する者、歯周病と全身疾患との関係を知っている者の割合が増加傾向にある。引き続き幅広い年代への周知啓発が必要

## ③ 令和5年度の取組予定

- 高知県歯科衛生士会へ委託
- 歯科衛生士を対象にしたアドバイザー養成研修会を合計3回実施予定

実施日	内容	会場
令和5年7月2日(日) 10:00~12:10	「健康寿命の延伸と歯周病」 講師 高知学園短期大学 客員教授 弘田 克彦	高知学園短期大学 +オンライン
令和5年8月20日(日) 10:00~12:00	「企業等への歯周病保健指導案の作成」 講師 住友商事人事厚生部 ヘルスプランニングチーム 歯科 茂木 美保	ちより街テラス +オンライン
令和5年8月20日(日) 12:45~14:15	「リーフレットを用いた実践、演習」 ○講話内容の作成(グループワーク)	ちより街テラス +オンライン

- 事業所での歯科保健指導の実施
  - ・事業所等から相談・申込を受けて、実施内容及び時期等の調整を行い、アドバイザー（3回の研修会全て受講した歯科衛生士）を20箇所程度の事業所に派遣し、歯科保健指導を実施
  - ・実施する業務：健診会場での指導、研修会における講演等、昼休み等を利用した指導

### (3) 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上

#### 1) オーラルフレイル対策

##### ① 令和4年度取組実績

(長寿社会課)

- 地域包括支援センター職員研修において、地域ケア会議への歯科衛生士をはじめとする各専門職の参加の必要性等について講義を実施（6/6）
- 関係機関と連携して地域ケア会議等への派遣が可能な歯科衛生士の養成を行うと共に市町村への研修において専門職の活用促進について周知した
- かみかみ百歳体操における取組実績を市町村ヒアリングにて把握

(保健政策課)

- オーラルフレイル対策勉強会の開催（令和5年2月16日）
- オーラルフレイル対策検討会の開催（書面）
- オーラルフレイル予防複合プログラム（運動、口の体操、噛む、栄養の複合パッケージ）  
・東京医科歯科大学との共同研究事業として、7月～12月に県内2モデル市においてプログラムを実践（新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け5市町から2市へと縮小）

福祉保健所	モデル市	モデル地区						実施期間
		介入群			対照群			
		地区名	対象人数	同意者数	地区名	対象人数	同意者数	
中央東	香美市	東町中部	15	15	山田島	7	5	R4.7~ R4.9
					斐生野	15	11	
幡多	四万十市	森沢集会所	20	16	まちなかサロン	20	15	R4.10~ R4.12
合計			35	31		42	31	

##### ② 評価・課題

- 「かみかみ百歳体操」を実施している保険者数 19保険者672か所
- 「かみかみ百歳体操」のアレンジ版や、その他の口腔機能向上プログラムを実施している保険者数12保険者
- 集いの場でのオーラルフレイル予防複合プログラムにより運動機能の改善や噛むことに関する意識の変容がみられ、さらなる効果の検証を進めていく必要がある。
- 地域の通いの場においてオーラルフレイル予防複合プログラムを取り入れやすいよう、マニュアルや教材の整備が必要

### ③令和5年度の取組予定

(長寿社会課)

- 地域支援事業における「住民主体の介護予防の取組」の中で、「かみかみ百歳体操」を実施している保険者の把握（今後市町村ヒアリングで把握予定）
- 地域包括支援センター職員研修において、地域ケア会議への歯科衛生士をはじめとする各専門職の参加の必要性等について講義を実施
- 関係機関と連携して地域ケア会議等への派遣が可能な歯科衛生士を養成
- 歯科衛生士会をはじめとする各専門職団体と連携しオンライン介護予防教室を実施

(保健政策課)

- オーラルフレイル対策検討会の開催 年2回
- 通いの場でできるオーラルフレイル予防マニュアル作成
  - ・ 通いの場で取り入れられるようなプログラムのマニュアル作成
  - ・ 通いの場での健康講話に活用できるようリーフレットを作成
- オーラルフレイル対策勉強会の開催 年1回
- オーラルフレイル予防複合プログラム
  - ・ 6月～12月に県内5モデル市町でプログラムを実施

#### 令和5年度モデル市町村

福祉保健所	モデル市町村	モデル地区		実施期間 (予定)
		介入群	対照群	
		地区名	地区名	
安芸	室戸市	脇地地区	高岡地区	R5.8～R5.12
		室戸岬地区	吉良川西町地区	
中央東	香南市	岸本健康体操クラブ	上夜須いきいき体操	R5.6～R5.10
			出口にここサロン	
中央西	いの町	枝川	音竹	R5.6～R5.8
須崎	四万十町	六反地宅老所「百笑」	サロンりんどう 影野	R5.7～R5.9
		金上野笑顔の会	柿ノ木山クラブ	
幡多	黒潮町	北郷	にしきの広場	R5.8～R5.10

## 2) 障害者の歯科治療の推進

### 2) - 1 重度心身障害児・者歯科診療事業

高知県歯科医師会が県の補助を受けて、歯科保健センター及び幡多分室で実施

#### 【目的】

一般の歯科医院等では診療が困難な重度心身障害児・者に対して、特別の人員構成をもって、障害特性に配慮した診療技術、口腔衛生の観点から歯科診療を行う。

#### ①令和4年度実績

##### ■ 重度心身障害児・者歯科診療事業の診療実績（高知、幡多）

	R3	R4
歯科保健センター (高知市)	1,943人 (診療日数73日、1日平均27人)	1,910人 (診療日数91日、1日平均20人)
幡多分室 (四万十市)	272人 (診療日数22日、1日平均12人)	283人 (診療日数24日、1日平均12人)

##### ■ 歯科保健センターの体制

実施場所：高知市総合あんしんセンター 1階

診療日：毎週土曜日、毎月2回木曜日の午後（平成30年度～）

	診療時間	実働時間	実施体制	
			歯科医師	歯科衛生士
午前	10:00～12:00 (2時間)	9:30～12:30 (3時間)	2～4人 ※県外の歯科医師1人を含む	6～8人
午後	13:00～16:00 (3時間)	12:45～17:00 (4時間15分)	4～5人 ※県外の歯科医師1人を含む	7～10人 ※インストラクター衛生士1人を含む

※令和4年4月から全身麻酔下による歯科治療を開始（毎月第1、第3木曜日の午前中）

※平成28年9月から月1回木曜日午後の診療を開始、平成30年度より木曜日午後の診療を月2回に変更

##### ■ 幡多分室の体制

実施場所：四万十市立市民病院内（四万十市）

診療日：毎月第2・第4日曜日

	診療時間	実働時間	実施体制（標準的な体制）	
			歯科医師	歯科衛生士
午前	9:30～12:00 (2時間30分)	8:40～12:00 (3時間20分)	3～5人	3～7名 ※インストラクター衛生士1人を含む
午後	13:20～15:00 (1時間40分)	13:10～15:30 (2時間20分)		

## 2) - 2 重度心身障害児・者歯科医療技術者養成研修

### ①令和4年度の実績

実施日	令和5年3月18日（土）
実施場所	高知県歯科医師会館 会議室
参加者	歯科医師5名、歯科衛生士8名
内容	講演「障害者歯科診療における行動調整①」 講師 歯科医師 岡崎 好秀 氏、歯科衛生士 井上 治子 氏

実施日	令和5年3月18日（土）
実施場所	高知県歯科医師会館 会議室 ※WEB参加あり
参加者	歯科医師11名、歯科衛生士9名、県関係者1名
内容	講演「障害者歯科診療における行動調整②」 講師 岡山大学病院スペシャルニーズ歯科センター長 江草 正彦 氏

### ②現状・課題

- 令和4年度に、障害児・者歯科に関するアンケート調査を行い、131（送付332、回答率約4割）の歯科医院から回答があった。  
そのうち障害児・者の歯科診療を実施している歯科医院は92（回答のあった131のうち7割）あり、地域の歯科医院での受け入れを進めていく必要がある。
- アンケート結果から「障害児・者の歯科診療全般に関して、今後、高知県歯科医師会に望むこと」は、「障害児・者を地域で診療していくための連携システムの構築」が最も多かった。
- 令和4年3月から全身麻酔下治療（4ケース/月（1日2ケース））の体制を整備し、重度の知的障害等のある患者に対する安全が確保された歯科治療を提供することができている。一方、回復室のベッドが限られていることから、歯科医、麻酔科医が長時間拘束されているほか、患者の負担にもつながっているため、負担軽減を図る必要がある。

### ③令和5年度の実行予定

- 従来の行動変容法による治療では対応が困難な障害児・者に対し、全身麻酔法による治療を実施する。また、回復室にストレッチャーを整備し、治療体制の充実を図る。
- 地域の診療所で初診を担い、歯科保健センターがフォローを行う連携システムの構築に向けた検討を行う。

## (4) 在宅歯科医療の推進

在宅療養推進課

### 1) 在宅歯科医療連携室整備事業

1. 目的：通院が困難な人に対する在宅歯科医療における医科や介護等の他分野との連携を図るための窓口を設置することにより、住民や在宅歯科医療を受ける者・家族等のニーズに応え、地域における在宅歯科医療の推進及び他分野との連携体制の構築を図る。
2. 対象：高齢や障害などの理由で歯科診療所への通院が困難な人
3. 委託先：一般社団法人高知県歯科医師会

#### ①令和4年度の実績

##### ○在宅歯科連携室の体制

体制	高知の連携室 (H23~)	幡多の連携室 (H29.5~)	東部の連携室 (R元.5~)
場所	高知県歯科医師会館内	四万十市立市民病院内	安芸市総合社会福祉センター内
スタッフ数	歯科衛生士 常勤1名、非常勤1名	歯科衛生士 常勤1名、非常勤1名	歯科衛生士 常勤1名
対応エリア	中央・高幡保健医療圏域	幡多保健医療圏	安芸保健医療圏
開設日	月～金	月～金	月～金

これまでの稼働件数 (H23年度 - R4年度)



○R4年度 相談件数内訳

相談月	件数（高知）	件数（幡多）	件数（東部）	計
R4.4	15	19	11	45
R4.5	22	25	8	55
R4.6	24	18	13	55
R4.7	15	27	13	55
R4.8	15	8	8	31
R4.9	18	18	7	43
R4.10	18	35	10	63
R4.11	17	15	10	42
R4.12	16	23	7	46
R5.1	13	27	11	51
R5.2	20	20	10	50
R5.3	24	29	12	65
合計	217	264	120	601
参考R3年度	213	319	98	630

○令和4年度 訪問診療内訳

相談月	件数（高知）	件数（幡多）	件数（東部）	計
R4.4	6	7	1	14
R4.5	7	8	0	15
R4.6	5	8	0	13
R4.7	6	9	2	17
R4.8	6	4	2	12
R4.9	7	9	0	16
R4.10	8	15	3	26
R4.11	9	7	0	16
R4.12	6	10	1	17
R5.1	5	11	2	18
R5.2	6	12	1	19
R5.3	3	15	2	20
合計	74	115	14	203
参考R3年度	83	140	9	232

○広報活動状況

医療関係者や介護関係者向けリーフレット及び啓発用チラシの配布、マグネットを作成し、広報を実施

	高知	幡多	東部
病院	6	2	2
施設、事業所 (ケアマネ・訪看)	31	18	17
イベント (福祉機器展、講演会等)	17	9	48
その他	23	37	33
計	77	66	100

※その他は、行政、地域包括支援センター、地域ケア会議等



啓発用チラシ



マグネット

○運営検討会

- ・東部在宅歯科連携室検討会 (R4.9.1)
- ・幡多在宅歯科連携室検討会 (R4.9.15)
- ・合同検討会 (R5.3.23)

→県歯科医師会、安芸福祉保健所、中央東福祉保健所、幡多福祉保健所と運営状況の共有、機能強化に向けた協議

○協議会等開催

会議名	開催日	開催場所	出席者	内容
在宅歯科医療連携室 運営事業連携協議会	R5.3.10 (金)	高知県歯科 医師会館	27	・事業説明 ・稼働状況報告 ・広報・周知や多職種との連携に ついての協議等

## ○摂食嚥下評価研修、多職種との連携

- ・高齢化に伴い、今後更に増加が見込まれる摂食嚥下障害に対応できる歯科医師の育成を目的に平成30年度から開始
- ・歯科診療のスキルアップ、口腔機能向上等介護予防のスキルアップ、災害時口腔ケアのスキルアップ等歯科医師会委託事業の一貫として実施

### 【研修内容】

- ・同行訪問歯科研修事業 口腔ケア・食支援・訪問歯科セミナー

W E Bセミナー「摂食嚥下障害の高齢者へ歯科からの食支援」（再配信）

配信期間：令和4年6月1日（水）～令和4年7月15日（金）

対象者：介護支援専門員、訪問看護師、高齢者施設職員等

（セミナー内容）

概要説明 島田 力 氏（島田歯科・歯科医師）

講演①「在宅医療での多職種連携」～訪問歯科の視点と提言～

伊藤充孝氏（いとう歯科・歯科医師）

講演②「認知症患者の食支援」～原因疾患を考えてケアにいかす～

深見かおり氏（フカミ歯科診療所・歯科医師）

講演③「在宅・施設における脳卒中患者の食支援」

前田恵利子氏（前田歯科医院・歯科医師）

講演④「口腔ケアについて」

石黒純子氏（じゅん歯科クリニック・歯科医師）

- ・嚥下内視鏡検査の実習

テーマ：「食支援への対応」

開催日時：R5.3.12（日） 10:00～16:00

場 所：マルミ歯科商店

受講者：歯科医師3名・帯同衛生士2名

## ② 評価・課題

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、施設に入ることができず、訪問診療の実施が困難な状況であったが、効率的な広報活動により、相談件数及び実施件数は横ばいを維持することができた。  
今後も県と在宅歯科連携室が連携した広報活動を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、訪問診療の実施につなぐことが必要
- 介護職等を対象に、多職種連携、認知症患者・脳卒中患者の食支援等の研修をW E B形式で実施し、関係職種と在宅歯科との連携推進を図った。引き続き、嚥下機能評価の研修による人材育成や多職種との連携に向けた事業の実施が必要

### ③令和5年度の取組予定

#### ○在宅歯科連携室の取り組み

##### ■ 在宅歯科連携室検討会の開催

- ・高知在宅歯科連携室検討会 年2回
- ・幡多在宅歯科連携室検討会 年1回
- ・東部在宅歯科連携室検討会 年1回
- ・合同検討会 年1回

##### ■ 在宅歯科連携室の広報活動

- ・県内のコロナ感染状況を注視しつつも、積極的なPR活動を行っていく。

##### ■ 在宅歯科医療連携室運営事業連携協議会

事業内容や稼働・執行状況の報告、広報・周知や他職種との連携について協議を行う  
(1回開催予定)

##### ■ 摂食嚥下評価研修

- ・同行訪問歯科研修事業（座学研修1回程度の開催を検討中）
- ・介護職等を対象とした口腔ケア等のWEBセミナーの配信（検討中）

## 2) 在宅歯科医療従事者研修事業

1. 目的：訪問歯科医療に関する研修及び口腔ケアの実技研修を行い、専門知識及び専門技術の習得による資質向上を図る
2. 対象：主に歯科衛生士等
3. 委託先：学校法人高知学園 高知学園短期大学

### ①令和4年度の取組

実施日	内容	会場	参加者数
R4年10月16日（日）	「日常での歯科保健管理・予防 ー障がい児・者ー」 講師：筒井 睦 氏	高知学園 短期大学 + オンライン	47名
R4年10月30日（日）	「災害時の歯科支援：歯科衛生士の視点で見た大震災」 講師：阿部 夕 氏	高知学園 短期大学 + オンライン	56名
R4年12月4日（日）	「おいしく食べてフレイル予防」 講師：本川 佳子 氏	高知学園 短期大学 + オンライン	47名
R5年2月26日（日）	「訪問歯科診療におけるフレイル予防 ～食べる機能の支援より～」 講師：飯田 良平 氏	高知学園 短期大学 + オンライン	58名
合計			208名
参考R3年度（研修回数：5回）			208名

### ②評価・課題

■ 新型コロナウイルス感染症の流行下であったが、ハイブリッド型にて研修を開催したことにより、研修累計参加者数208名と昨年度同様多くの在宅歯科医療従事者の参加があった。今後も、より多くの方に研修に参加していただき、専門知識及び専門技術の習得・資質向上を図っていくこととする。

### ③令和5年度の取組予定

- 在宅歯科保健医療の知識及び口腔ケアの手技を取得するための座学と実技研修を合計3回以上実施予定

## (5) 災害時歯科保健医療対策

### ① 令和4年度の実績

- 災害歯科コーディネーター（支部担当）配置に係る連絡会の開催（令和4年11月22日）
  - ・支部で活動する災害歯科コーディネーターの配置に向けた協議
- 災害歯科保健医療対策検討会の開催（令和5年1月12日）
  - ・災害時医療救護計画改定案、災害歯科コーディネーター設置要綱案について協議
- 令和4年度保健医療調整本部運営訓練（令和5年1月28日）

### ② 評価・課題

- 災害歯科コーディネーター（支部担当）の具体的な活動内容等についての検討や、高知県災害時歯科保健医療対策活動指針の見直しが必要

### ③ 令和5年度の実績予定

- 災害歯科コーディネーター（支部担当）配置に係る連絡会の開催（令和5年6月19日）
- 災害歯科コーディネーター（支部担当）の委嘱
- 保健医療調整支部ごとに、災害時医療救護計画及び災害時歯科保健医療対策活動指針改定案について共有、協議
- 災害歯科保健医療対策検討会の開催 年1回
- 高知県災害時歯科保健医療対策活動指針の見直し

## (6) 歯科衛生士養成奨学金

### ① 令和4年度取組実績

- 令和4年度新規貸付者 3名  
(住所地・出身：中央保健医療圏3名)  
継続者と合わせて、計9名
- 奨学金制度活用促進のための周知
  - ・近畿・中四国の歯科衛生士養成施設、県内の高等学校に制度周知
- 今年度卒業予定の9名に面談し、指定地域での就職意思の確認（12月）
- 高知県歯科衛生士養成奨学金に関する要綱策定

### ② 評価・課題

- 令和4年度卒業生7名が指定医療機関に就職
- 養成施設を通じて、引き続き周知が必要

### ③ 令和5年度取組予定

- 令和5年度新規貸付者 2名  
(住所地・出身：中央保健医療圏2名)  
継続者と合わせて、計5名
- 奨学金制度活用促進のためのさらなる周知
  - ・近畿・中四国の歯科衛生士養成施設、県内の高等学校に制度周知
- 今年度卒業予定の2名に面談し、指定地域での就職意思の確認

〈奨学金の支援状況〉

貸付年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
新規貸付者*	5名	5名	9名	2名	3名	2名

\* 延べ人数

〈卒業者の状況（令和2、令和3、令和4年度卒業生）〉

	R2	R3	R4
指定医療機関へ就職	4名	2名	7名
その他	1名	2名	2名

(3) 第5期高知県健康増進計画  
「よさこい健康プラン21」について

# 項目：歯・口腔

## ① 目標達成状況

指標	目標値 (令和5年度)	計画策定時 (平成29年度)	直近の実績値 令和4年度	達成 状況	目標値 (令和10年度)	目標値 (令和17年度)
むし歯のない3歳児の割合	-	-	89.0%	-	92%以上 (令和8年度)	96%以上
一人平均むし歯数	3歳 0.4本以下 12歳 0.5本以下 17歳 1.5本以下 (令和3年度)	3歳 0.55本 12歳 0.97本 17歳 2.53本	3歳 0.37本 12歳 0.50本 17歳 1.82本	B	3歳 - 12歳 0.5本以下 17歳 1.5本以下 (令和8年度)	12歳 0本 17歳 0本
歯肉に炎症所見を有する者の割合	12歳 20%以下 17歳 20%以下 (令和3年度)	12歳 23.4% 17歳 24.4%	12歳 24.0% 17歳 20.0%	D	12歳 20%以下 17歳 20%以下 (令和8年度)	12歳 10%以下 17歳 10%以下
40歳代で進行した歯周病(4mm以上の歯周ポケットあり)に罹患している人の割合	25%以下 (令和3年度)	—	68.7% (R2)	-	50%以下 (令和8年度)	40%以下
80歳以上で自分の歯を20本以上有する人の割合	60%以上 (令和3年度)	59.3%	56.7% (R2)	D	60%以上 (令和8年度)	85%以上
定期的に歯科健診を受けている人の割合	65%以上 (令和3年度)	53.5%	62.4% (R2)	B	70%以上 (令和8年度)	95%以上

### ②現状

- 一人平均むし歯数 ⇒改善傾向にある
- 歯肉炎罹患率 ⇒悪化傾向にある
- 40歳代で進行した歯周病(4mm以上の歯周ポケットあり)に罹患している人の割合⇒ —
- 80歳以上で自分の歯を20本以上有する人の割合 ⇒悪化傾向にある
- 定期的に歯科健診を受けている人の割合 ⇒改善傾向にある

### ③課題

- (1)フッ化物洗口実施率は向上しているが、市町村間で差があり、実施率が低い市町村への支援が必要
- (2)各市町村で歯科健診が受けられる体制は一定整ったが、県民の受診行動の定着には至っていない
- (3)通いの場において、口腔体操に加えて噛みごたえのある食事の重要さの啓発が必要

### ④対策

- (1)市町村が行うフッ化物洗口導入及びフォローアップに向けた支援を行い、歯科口腔保健に係る健康格差の縮小に努める
- (2)高知県歯科医師会や高知県歯科衛生士会と連携し、マスメディア等を活用して、歯周病予防の重要性や定期的な歯科健診受診、全身疾患との関連性等を周知。また、かかりつけの歯科医療機関をもち、定期的に歯科健診を受けることを普及啓発
- (3)通いの場等でできるオーラルフレイル予防マニュアルを活用した、市町村におけるオーラルフレイル対策への支援